



学校だより

令和6年8月30日

No. 6 9月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>



備える

校長 小澤 孝之

7月26日から8月11日までの17日間、フランスのパリでオリンピックが開催されました。前回の東京オリンピックは新型コロナウイルスの影響で無観客だったのを思うと、観客席に多くの人がいって選手を応援している姿に、本来持っているスポーツの力を改めて感じました。私もテレビにかじりついて競技を見て感動をもらった一人ですが、多くの競技で予選、あるいは準決勝までしか見られず、次の日の朝に決勝の結果を知るという日々でした。それでも、海外で開催されたオリンピックでは最多の20個の金メダル、銀・銅も合わせ45個という素晴らしい結果にうれしくなりました。メダルを獲得できなかった選手も含め、選手全員から感動をいただきました。

今回のインタビューで話題になったのが、選手の言葉の中に家族や関係者への感謝やお詫びの言葉が多かったということでした。オリンピックの舞台に立つまでに周囲の人々が協力し、選手本人が努力をしてきたかがうかがえます。何かをなす時には、一人では達成が難しく、周囲との協力が大切であるということも学ぶことができました。8月28日からはパラリンピックが始まりました。また、新たな感動に出会えるのが楽しみです。選手の皆さんに心からエールを送りたいと思います。

さて、この夏のもう一つの話は、災害でした。毎日の猛暑・熱中症対策もありましたが、地震も多く発生しました。8月8日の宮崎県沖の日向灘を震源とする地震は南海トラフ地震との関連が検討され、1週間程度の注意喚起が行われました。また、9日には神奈川県西部を震源とする地震も発生し、横浜でも震度4の地域もありました。私たちの住む日本は地震大国であることを改めて実感するとともに100年に一度といわれる大きな地震がいつ起きてもおかしくないということを感じずにはられませんでした。

震度5強を超える大きな地震が発生したとき、どのように対応したらよいか改めて見つめなおす必要があると感じています。と同時に、周囲の方との連携をとれるように日ごろからの関係づくりも大切です。9月1日は防災の日。子どもたちにもいつも話していますが、真剣に、実際に起こった時のことを想定した訓練を進めていきたいと思います。ぜひ、ご家庭でも地震をはじめとする災害にどのように対応するか、話題にさせていただけるとありがたいです。



過日行われた学校説明会の中でもお話したように、10月から学校より配付する文書をすぐーるでの配信に移行します。自然環境保護の観点からも、紙での配付は行わない予定です。ご理解・ご協力をお願いいたします。